
Dark in Light

暁 亜季

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D a r k i n L i g h t

【Nコード】

N 2 9 8 6 Z

【作者名】

暁 亜季

【あらすじ】

「鉄格子の隙間から見える大空は私の心とは正反対で、綺麗で手を伸ばしたけど無理だった」

「ただ、大空を自由に羽ばたける鳥になりたかった」
学園で平穏な日々を過ごす佐倉蜜柑。

今日もいつもの日々が来る――はずだった。あの転入生達が来るまでは…。

平穏な日々を崩す足音は突然やってきた、全てを壊すために。
これは闇に囚われた人の話。

プロローグ

『お前は人間じゃない』

私の中に響く言葉。

呪縛のように締め付ける言葉。

『貴方は気味が悪いですね』

ヤメテ……

普通って何…？

他の人と違うモノを持っていたら、人じゃないの…？

『お前は人間じゃないんだよ。お前は』

ヤメテ…

それ以上、言わないで

ヤメテ…ッ！

聞きたくない…！

『お前は、私の可愛い人形だ。』

―オマエハ、ワタシノニンギョウダ―

頭の中を木霊する。

イヤ……

私は、お前の人形じゃない。

私は私だよ？

誰か気づいて

『さあ、おいで。私の可愛い人形…』

チガウ…！

人形じゃない。一人の人間だよ。

『お前に光はないよ。お前には必要ない。闇の中で我々と一緒に生きてくんだ。』

光がほしい。

この闇を照らせるくらいの光がほしい。

力がほしい。

早く、この生活から逃げたい。

それだけの力が…、光がほしい。

誰か…

私の名前を呼んで。

気味悪がらないで。

私に近づいてきてよ。

誰でもいいから…

私を見つけて。

助けて。

誰でも良いから

太陽のように眩しい光みたいな笑顔を私に向けてください。

私に光という名の希望をください——。

プロローグ（後書き）

これは中学生の時にとあるマンガを元に書いた作品です。

駄文で申し訳ないですが、最後まで読んでいただけると嬉しいです。

それでは、

次回もお楽しみに……。

感想またはダメ出しお待ちしております。

第零話

月食で月が空に浮かばない夜。

周囲は薄暗い闇に包まれ、この場所に誰一人として出歩いているものはいなかった。無論、音がする物はなく、静粛だけがその場を支配している。

「はあ…はあはあ……」

だが、その中で聞こえる人の息づかい。

―タッタタタ―

そして、何かから逃げるような足音。闇の中、人の形をした影が通り過ぎた。

「ハアハア…これで…これで…自由だ」

息を切らしながら、影は呟く。その言葉にはどこか嬉しさが込められているように感じられる。

「もう、何にも縛られる事なく生きてける…。もう、何にも…」

再び呟くと影はまた走り出し、ついにはその場からいなくなっていた――。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2986z/>

Dark in Light

2011年12月10日17時50分発行